

ふくい街角景気速報

(令和4年11月分)

調査期間 令和4年11月17日～25日 (回答率：97%)

概況

景気の現状判断DIは49.0となり、前月と比べ1.8ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは43.0となり、前月と比べ4.1ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 49.0 (前月比 ▲1.8)

○家計動向関連では、前月に比べ 2.1ポイント低下した。

○企業動向関連では、前月に比べ 0.7ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 3.9ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○依然として、円安・原料高・エネルギーコストの高止まりがある一方で、個人所得は伸びず、個人消費の回復が遅れている。(スーパー)

○半導体不足や資源・エネルギーコストの上昇、原材料価格の高止まりの影響は大きく、回復に足踏み状況が続いている。(化学・プラスチック関連)

■景気の先行き判断DI 43.0 (前月比 ▲4.1)

○家計動向関連では、前月に比べ 8.2ポイント低下した。

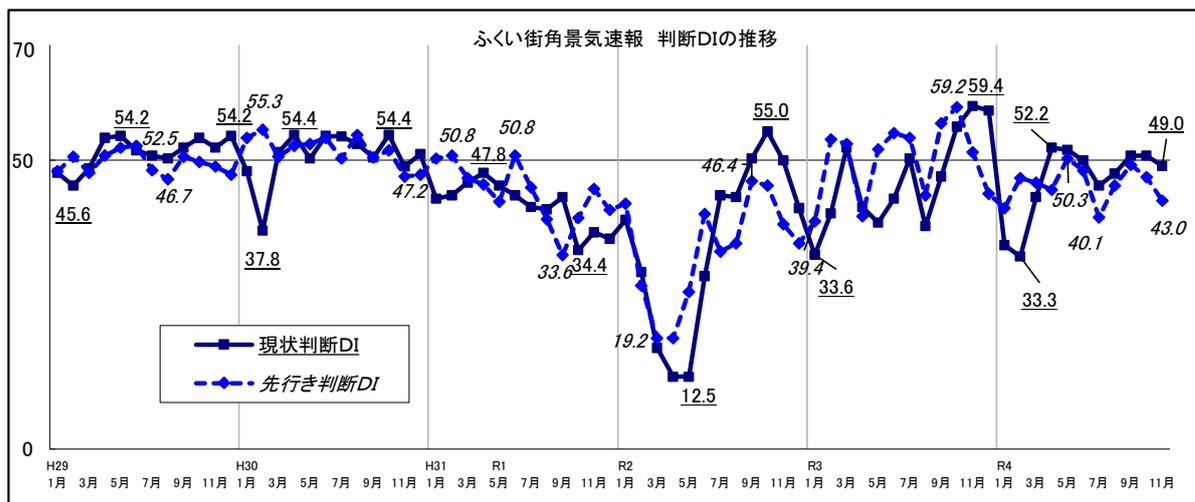
○企業動向関連では、前月と同水準であった。

○雇用関連では、前月に比べ 0.2ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○円安や物価高、電気料金の高騰に加え、比較的落ち着いていた新型コロナが第8波に入ったことで、少なからず影響が出てくるのではないかと考える。(百貨店、SC等)

○為替相場が安定せず、先行きの不透明感が強い。(建設・不動産関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R4 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		50.0	45.6	47.7	50.8	50.8	49.0	▲1.8
家計動向関連		55.5	43.9	45.9	53.7	53.1	51.0	▲2.1
小売		50.0	39.1	40.3	48.3	46.2	45.3	▲0.9
飲食		66.7	50.0	50.0	62.5	70.8	60.0	▲10.8
サービス		64.6	54.2	58.3	63.6	65.0	62.5	▲2.5
企業動向関連		45.1	47.1	49.3	45.0	48.6	47.9	▲0.7
製造業		48.1	46.2	47.0	46.0	49.0	48.1	▲0.9
非製造業		37.5	50.0	55.0	42.5	47.5	47.5	+0.0
雇用関連		40.9	47.9	50.0	56.3	47.7	43.8	▲3.9

○回答別構成比

	年 月	R4 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなっている		4.1%	1.0%	2.1%	3.2%	6.3%	7.2%	+0.9
やや良くなっている		25.8%	25.0%	22.9%	22.3%	26.0%	16.5%	▲9.5
変わらない		40.2%	35.4%	43.8%	51.1%	35.4%	43.3%	+7.9
やや悪くなっている		25.8%	32.3%	26.0%	21.3%	29.2%	30.9%	+1.7
悪くなっている		4.1%	6.3%	5.2%	2.1%	3.1%	2.1%	▲1.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R4 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		48.2	40.1	45.6	49.2	47.1	43.0	▲4.1
家計動向関連		53.5	38.8	44.4	51.6	49.0	40.8	▲8.2
小売		46.1	35.9	41.1	43.3	44.7	41.4	▲3.3
飲食		62.5	50.0	54.2	62.5	62.5	50.0	▲12.5
サービス		68.8	41.7	47.9	68.2	55.0	35.4	▲19.6
企業動向関連		42.4	42.9	47.1	45.7	44.4	44.4	+0.0
製造業		43.3	43.3	46.0	45.0	43.3	45.2	+1.9
非製造業		40.0	41.7	50.0	47.5	47.5	42.5	▲5.0
雇用関連		43.2	37.5	45.8	50.0	47.7	47.9	+0.2

○回答別構成比

	年 月	R4 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなる		8.2%	0.0%	1.0%	6.4%	2.1%	2.1%	+0.0
やや良くなる		29.9%	14.6%	18.8%	20.2%	18.8%	14.4%	▲4.4
変わらない		28.9%	40.6%	44.8%	42.6%	47.9%	45.4%	▲2.5
やや悪くなる		26.8%	35.4%	32.3%	25.5%	28.1%	29.9%	+1.8
悪くなる		6.2%	9.4%	3.1%	5.3%	3.1%	8.2%	+5.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	福井	コンビニエンスストア	土日祝の来客数が大幅に増加。各コロナ対策キャンペーンの効果が顕著である。
		嶺南	観光関係	全国旅行支援と、繁忙期である11月が重なり、平日含めてほぼ満室の盛況。
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	スーパー	コロナ第8波が来ている中だが、GOTOキャンペーンやふく割などの効果があり、自店でも、商品力アップ・従業員意識改革・利益改善が徐々に出来てきた。
		福井	飲食関連	越前ガニが解禁し、県内外の人が出てきているから。
		福井	観光関係	旅行支援事業により旅行需要がやや回復したため。
	企業動向	丹南	伝統工芸関連	受注が多くなっている。
		嶺南	食料品製造関連	売上げが、コロナ前まで戻ってきた。
③変わらない	家計動向	福井	スーパー	依然として、円安・原料高・エネルギーコストの高止まりがある一方で、個人所得は伸びず、個人消費の回復が遅れている。
		坂井	スーパー	売上・客数に大きな変化が見られないため。
		奥越	観光物産関係	祝祭日は来店は増えている感があるが、平日は少ない。
		福井	サービス業関連	新車の受注・売り上げ共に横ばいで推移しており、大きな伸張は見られない。
	企業動向	坂井	繊維関連	海外販売等好転している事もあるが 原料の高騰や為替の影響で厳しい部分もある。
		丹南	眼鏡関連	相変わらず原材料や燃料費の高騰が続いており、利益率を圧迫している。
		福井	一般機械関連	国内受注は7月より停滞している。一方で欧米の受注は安定して高止まり。
		福井	化学・プラスチック関連	半導体不足や資源・エネルギーコストの上昇、原材料価格の高止まりの影響は大きく、回復に足踏み状況が続いている。
		福井	銀行等金融関連	全国旅行支援の効果もあり、対面型サービス(宿泊業・飲食業)を中心に回復傾向になった。一方、製造業では半導体不足の影響による供給の遅れもあり、売上に影響が生じている。
	雇用	福井	学校就職担当者	高校生の求人状況も一段落し、景気の動向も変化がない状況である。
		嶺南	学校就職担当者	企業の採用活動は、衰えていないため。
	④やや悪くなっている	家計動向	福井	一般小売店
福井			百貨店、SC等	価格の高騰等、先行き不安からか、購入数量が抑えられている感覚がある。
奥越			百貨店、SC等	売上は昨年より平均的には良いが、物価が上がり売値がその分上がっているだけで、店の経営状態はより厳しくなっている。
嶺南			飲食関連	ゆっくりと物価が上がっているのを感じる。これから寒くなるので、灯油代などを考えると憂鬱である。
企業動向		福井	眼鏡関連	9月の3連休以降、売り上げも来客数も減少が続く。旅行支援制度も本格的になった秋の行楽シーズンで人々の消費志向は行楽や飲食に向いている。このような状況下での小売業の景気は全体的にあまり良くないと考えられる。
		丹南	電気機械関連	中国経済の低迷が見られること等により、先行きの不透明感も強まっているため。
		福井	商社	円安からの仕入れ価格の高騰、価格転嫁の遅れ。
雇用	丹南	労働相談員	仕事量が減少していると聞いている。物価高は影響が出始めている。	
⑤悪くなっている	企業動向	丹南	電気機械関連	円安傾向のため。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	福井	百貨店、SC等	2年ぶりのイベント再開や帰省、旅行など、復興に向けた消費は活性化するという。ただし、生活用品などのモノの購買は低迷するという。
		福井	スーパー	コロナ禍の収束には至らないが、社会経済活動の正常化、円安の高止まりと、円高方向への正常化により、回復に至ることが期待されるため。
	企業動向	福井	一般機械関連	国内受注は11月から商談が増加しているため、来年3月までは回復傾向となる予想。海外は安定している。
		嶺南	食料品製造関連	クーポンを使用した消費が活発になっている。
	雇用	嶺南	労働相談員	今月の労働相談も1件と少なく、景気の回復が労働環境の改善に繋がっている。第8波が来ても、今後の景気回復が見込まれる。
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	消費者の購買意欲が上がる要素が見当たらないため、現状とあまり変化しないと予想している。
		坂井	一般小売店	ますます色々な物が値上げしてくるから。
		丹南	百貨店、SC等	円安や物価高、電気料金の高騰に加え、比較的落ち着いた新型コロナが第8波に入ったことで、少なからず影響が出てくるのではないかと考える。
		坂井	スーパー	年末年始に向けコロナが再拡大しそうな傾向があるので、「コロナが落ち着いた外出・消費増」という流れにはならないと想像している。
		嶺南	飲食関連	第8波の影響がどうなるかが読めない。
	企業動向	坂井	繊維関連	為替や原料の高騰についてはまだまだ先不透明なため。
		奥越	繊維関連	経済環境の回復が見られるものの、インフレ状況はまだ悪化する気配。
		福井	化学・プラスチック関連	物価高対策など経済対策による消費の持ち直しが期待されるものの、新型コロナウイルスの第8波の拡大懸念や相次ぐ製商品価格の値上げによる消費の落ち込みが懸念される。
		福井	銀行等金融関連	全国旅行支援の影響で個人消費の持ち直しの動きが続くと期待されるが、コロナ感染増加と季節性インフルエンザの同時流行も懸念され、消費の足かせになりかねない。また記録的な物価上昇が続いており、家計負担は一段と重くなる模様。
		丹南	建設・不動産関連	為替相場の変動次第で仕入原価に影響するため。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	物価高騰、円安が深刻になりつつあり、経営が厳しいとの意見を耳にする。
福井		学校就職担当者	高校生の求人状況も落ち着いており、今後も大きな変動はないと考える。	
④やや悪くなる	家計動向	福井	スーパー	一時的に客単価は上がっても、電気代等の経費増は変わらず、お客様の支出を抑える動きが増えていく中、営業利益は下がってくるため、結果的に景気は悪くなっていく。
		嶺南	飲食関連	原料や商品価格の高騰が、まだ続きそうである。
		嶺南	観光関係	年明けからのコロナ第8波との兼ね合い、全国旅行支援の再開・延長など、不確定要素は多いが、そこまで低迷するとは考えていない。先行予約もそこそこの水準だと思う。
		福井	観光関係	コロナ第8波が来ているため。
	企業動向	福井	眼鏡関連	今後も物価高や各種製品の値上げなど消費にマイナスな状況が続くと考えられ、景気が良くなる要素が考えられない。コロナの影響も第8波の状況次第では更なるマイナス要因となり得る。
		嶺南	商社	値上げによる消費低迷。
		福井	建設・不動産関連	為替相場が安定せず、先行きの不透明感が強い。
⑤悪くなる	家計動向	福井	一般小売店	度重なる仕入の値上がりがある中で、そのまま売値に価格転嫁が難しい。
		坂井	観光物産関係	ここ3年は、年始にコロナの感染者が多くなる傾向があるので、今回もそのような傾向になると商品の動きが鈍くなると思うため。
	企業動向	福井	商社	新年より、燃焼油の補助金の減が見込まれるため、仕入れ価格が一層高騰するため。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)